

⑪ 公開特許公報 (A) 昭63-130448

⑤Int.Cl.⁴
B 60 R 22/24
22/12
22/34

識別記号 庁内整理番号
8510-3D
8510-3D
8510-3D

③公開 昭和63年(1988)6月2日
審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

④発明の名称 自動車のシートベルト装置

②特 願 昭61-274566
②出 願 昭61(1986)11月17日

⑦発明者 桑田 義正 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内
⑦発明者 今岡 直浩 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内
⑦出願人 マツダ株式会社 広島県安芸郡府中町新地3番1号
⑦代理人 弁理士 大浜 博

明細書

1. 発明の名称

自動車のシートベルト装置

2. 特許請求の範囲

1. ウエビングの一端側がリトラクタに巻き込まれたショルダー部を有する自動車のシートベルト装置において、上記リトラクタが車室内ルーフ中央部下面に設置されていることを特徴とする自動車のシートベルト装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、自動車のシートベルト装置に関するものである。

(従来技術)

一般に自動車のフロント側の運転席および助手席シートには、例えば第3図に示すように、シートベルト本体を形成するウエビングの一端に当該ウエビングを引き出し又は巻戻し可能に巻き込んだリトラクタ4,4を設け、該リトラクタ4,4を車

体側クオータートリム7の内側で車体に対して固定するとともにショルダー部途中に設けた中間ハンガー5,5をセンターピラー3の上部に固定し、さらに上記ウエビングの他端側係止部6,6を上記シートS₁,S₂のアウターサイド側下部に固定することによって構成されたフロントシートベルトI,Iがそれぞれ設けられている。これらフロントシートベルトI,Iの上記中間ハンガー5,5と係止部6,6との間にはスルーフリーな状態でラップ側バックルの一方側掛け金具10a,10aが係合されている。他方、上記運転シートS₁と助手席シートS₂との間のサイドブレーキ部位置には上記バックルの他方側受け金具10b,10bが設けられている。

そして、上記バックル10の掛け金具10a,10aと受け金具10b,10bと嵌合締結することによってラップベルト部およびショルダーベルト部が共に装着状態に維持されるようになっていた(例えば実開昭61-37055号公報参照)。

ところが、上記のような構成のシートベルト装

置では、センターピラーのないセンターピラーレス車の場合には、上記ショルダー部の中間ハンガー5を取付けることができない問題が生じる。

そこで、最近では上記のようなセンターピラーレス車においては、第4図に示すように上記中間ハンガー5をルーフ側両側部のルーフサイドレール部2に対して取付けることが行なわれている。

(発明が解決しようとする問題点)

しかし、上記のようにセンターピラーレス車においてショルダー部途中の中間ハンガーをルーフサイドレールに対して固定する構成を探ると、当該ショルダー部が常時ウインドガラスに沿って垂れた状態でウインド開口内に位置することとなるためウインドの開放感をいちじるしく低下させるとともに、それが外部からそのまま見えるようになるので非常に見栄えが悪くなる欠点がある。

(問題点を解決するための手段)

本発明は、上記の問題を解決することを目的としてなされたもので、ウエビングの一端側がリトラクタに巻き込まれたショルダー部を有する自動車

ラップ部20Aと、ウエビング一端側がリトラクタ21内に引き出し又は巻戻し可能に巻き込まれてるとともに他端側が上記ラップ部20Aの一端側に連結するショルダー部20Bと、上記ラップ部20Aの上記ショルダー部20Bに連続する一端側に介装された第1の掛け金具(サッシュガイドプレート)23と、該第1の掛け金具23と係合して上記ラップ部20Aおよびショルダー部20Bをシート一端側で保止する第1のバックル部20Cと、上記ラップ部20Aの他端側に設けられた第2の掛け金具24をシート他端側で保止する第2のバックル部20Dとから構成されている。

そして、上記リトラクタ21は、第1図に詳細に示すように車室内ルーフパネル27中央部下面の閉断面構造のルーフレインフォースメント26内に取付ブラケット28を介して取付けられている。そして、上記ラップ部20Aのウエビング他端に設けられた上記第2の掛け金具24と係合する第2のバックル部20Dは、車室内フロア部中央に設けられているセンターコンソール29取付

のシートベルト装置において、上記リトラクタが車室内ルーフ中央部下面に設置されたものである。

(作用)

上記の手段によると、ショルダー部のウエビング一端側を巻き込んだリトラクタが車室内ルーフ中央部下面に設置されているためにショルダー部がウインドガラス部にそのまま露見するようことがなく、センターピラーレス車に適用した場合にも外観上の見栄えが良くなるとともにリトラクタ設置のためのスペースファクタ上の制約も少なくて済むようになる。

(実施例)

第1図および第2図は、本発明の実施例に係る自動車のシートベルト装置を示している。

第1図および第2図において、先ず符号20、20は運転席S₁および助手席S₂の各々に対応してそれぞれ設けられた3点式のシートベルトである。

上記シートベルト20は、上記運転席S₁又は助手席S₂の左右両端間に亘って延設保止される

用のトンネル部30の側面に対して固定されているとともに、他方上記ショルダー部20Bとラップ部20Aとを仕切るようにウエビングの中間部に設けられていて上記第1のバックル部20Cと係合する上記第1の掛け金具は、そのリング部を利用してスルーフリーな状態で当該ウエビングに嵌装されている。

従って、上記シートベルト20のウエビングは非使用時には上記ルーフ部のリトラクタ21内に巻き込まれて収納された状態となる一方、上記第2の掛け金具24を引くことによりウエビングを引き出して先ず当該第2の掛け金具24を上記第2のバックル部20Dに、また第1の掛け金具23を上記第1のバックル部20Cにそれぞれ係合すると、上記ウエビングは第2図に示すようにラップ部20A、ショルダー部20Bを形成する状態で3点張設されることになる。

そして、該状態では上記ショルダー部20Bは車室内中央部において略上下方向に延設されることになる。そのため、ウインドガラス部Wに近接

してショルダベルトが位置する場合と異なりウインドの開放感を阻害することがなくなるとともに外部からは余り見えないようになり、一段と見栄えが向上する。

また、リトラクタ21が空間的に制約のない車室内天井部に設置されているので、引き出しも容易となり同時に操作性も向上することになる。

(発明の効果)

本発明は、以上に説明したように、ウェビングの一端側がリトラクタに巻き込まれたショルダー部を有する自動車のシートベルト装置において、上記リトラクタが車室内ルーフ中央部下面に設置されたことを特徴とするものである。

従って、本発明によると、ショルダー部のウェビング一端側を巻き込んだリトラクタが車室内ルーフ中央部下面に設置されているためにショルダー部がウインドガラス部にそのまま露見するようことがなく、センターピラーレス車に適用した場合にもウインドの開放感を阻害することなく外観上の見栄えが良くなるとともにリトラクタ設置の

ためのスペースファクタ上の制約も少なくて済むようになる。

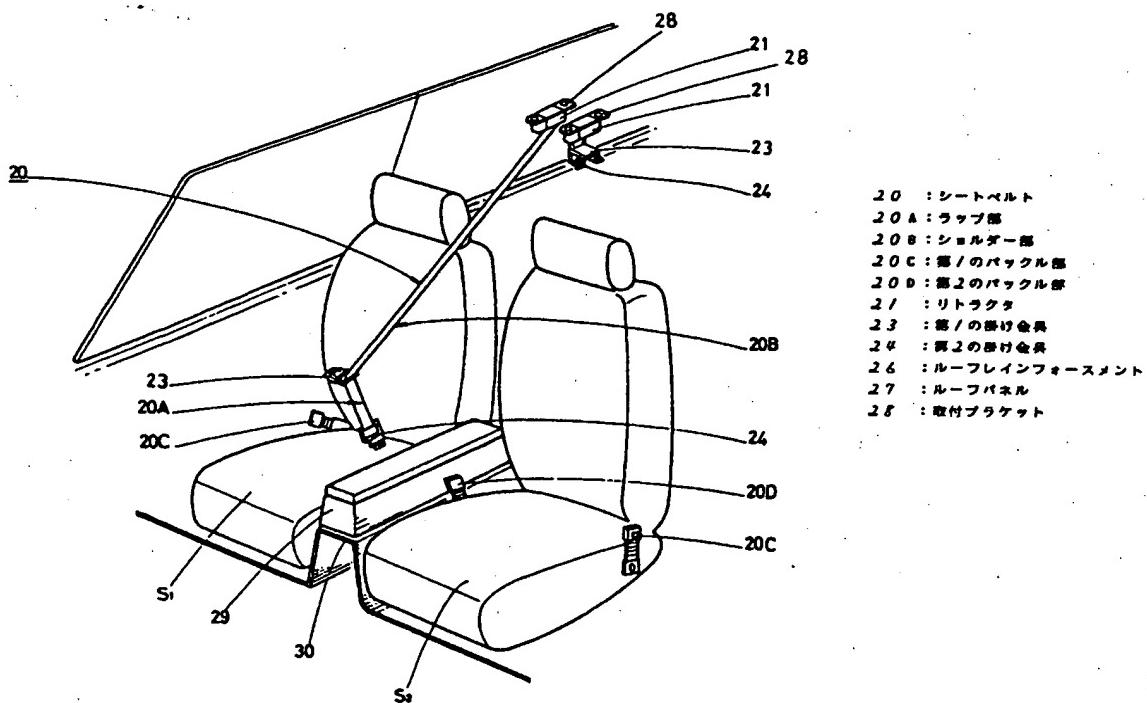
4. 図面の簡単な説明

第1図は、本発明の実施例に係る自動車のシートベルト装置の斜視図、第2図は、同装置の断面図、第3図および第4図は、従来例の斜視図である。

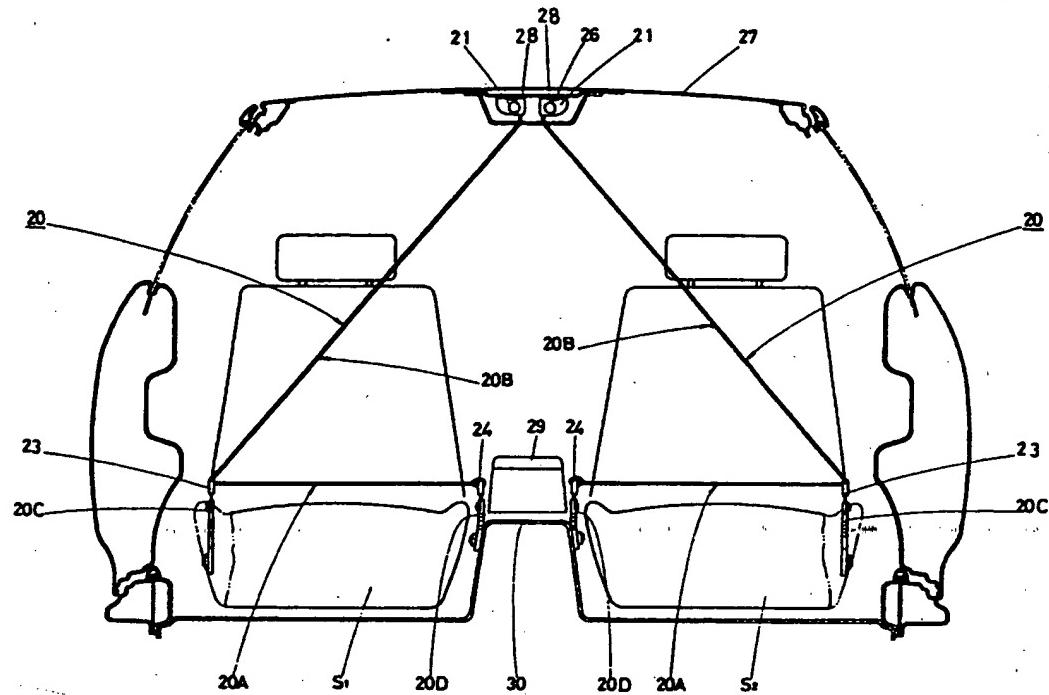
- 20 シートベルト
- 20A ラップ部
- 20B ショルダー部
- 20C 第1のバックル部
- 20D 第2のバックル部
- 21 リトラクタ
- 23 第1の掛け金具
- 24 第2の掛け金具
- 26 ルーフレインフォースメント
- 27 ルーフパネル
- 28 取付プラケット

出 品 人 マツダ株式会社

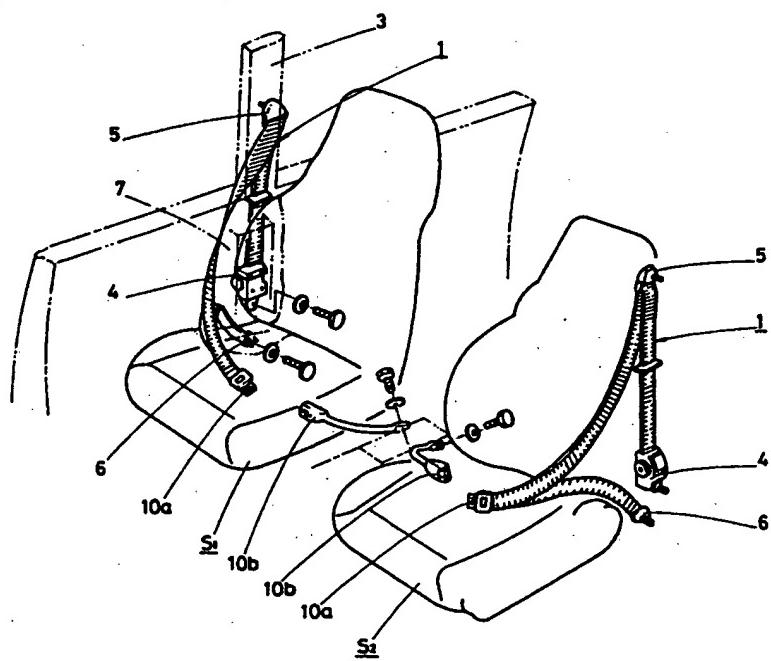
代 理 人 弁理士 大浜 博



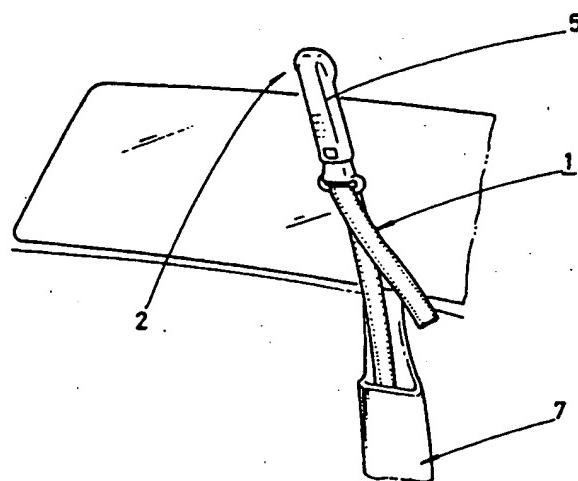
第1図



第2図



第3図



第4図

CLIPPEDIMAGE= JP363130448A

PAT-NO: JP363130448A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 63130448 A

TITLE: SEATBELT DEVICE FOR AUTOMOBILE

PUBN-DATE: June 2, 1988

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KUWATA, YOSHIMASA

IMAOKA, NAOHIRO

INT-CL (IPC): B60R022/24; B60R022/12 ; B60R022/34

US-CL-CURRENT: 280/808

ABSTRACT:

PURPOSE: To improve the appearance without sacrifice of open feeling of a window of a center pillarless car, by providing a retractor entraining over one end side of a seatbelt webbing having a shoulder section on the underface in the central portion of the indoor roof.

CONSTITUTION: Buckle sections 20C, D are provided at the opposite sides of a seat and a retractor 21 is arranged on the underface in the central portion of the indoor roof, then a webbing 20 of a seatbelt is entrained. A hook metal 24 is stopped at the other end of the seatbelt webbing and another hook metal 23 is fitted in the central portion. Then respective hook metals 23, 24 are engaged with respective buckle sections 20C, D so as to form a lap section 20A and a shoulder section 20B. Consequently, even a center pillarless car having no center pillar for containing the retractor can be fixed

with a three point
seatbelt, and open feeling of window is not damaged when
the seatbelt is fixed,
resulting in the improvement of appearance.

COPYRIGHT: (C)1988, JPO&Japio

----- KWIC -----

Document Identifier - DID:

JP 63130448 A

Current US Cross Reference Classification - CCXR: 7

280/808